

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	37° 9′ 18″	橋梁ID
				経度	138° 5′ 38″	37.15495,138.09402
赤野俣歩道橋 (フリガナ)アカノマタトウキョウ	一級市町村道協の 谷道下線	上越市名立区名立大町				
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
上越市	2023.10.30	2級河川名立川	有	一般道		不明管

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

エヌシーイー(株) 櫻井 俊希

定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅲ	腐食	写真1、Mg		
	横桁	Ⅲ	腐食	写真2、Cr		
	床版	Ⅲ	床版ひびわれ	写真3、Ds		
下部構造		Ⅰ				
支承部		Ⅲ	腐食	写真4、Bh		
その他		Ⅱ	破断	写真5、Ra		

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録	
(判定区分)	(所見等)
Ⅲ	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1980年	51m	2.5m
橋梁形式		
鋼桁橋		

起点



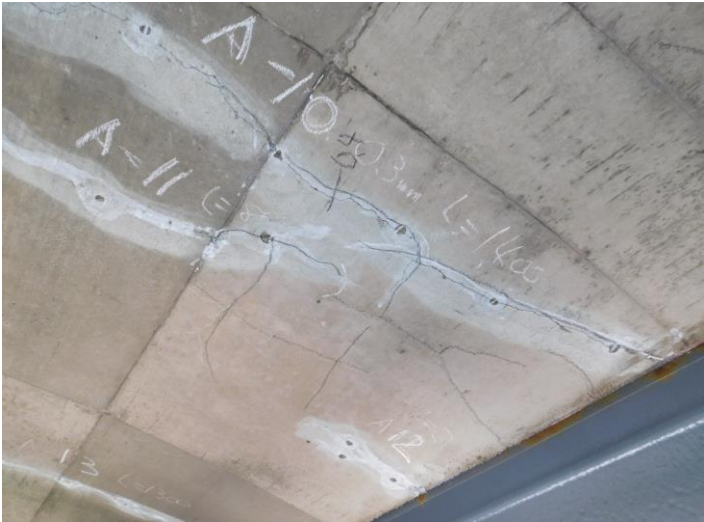
終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】		上部構造(横桁)【判定区分: Ⅲ】	
写真1		写真2	
上部構造(床板)【判定区分: Ⅲ】		下部構造【判定区分: Ⅰ】	
写真3			

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分：Ⅲ】		その他(高欄)【判定区分：Ⅱ】	
写真4		写真5	
【判定区分：】		【判定区分：】	